

防コミの歩き方



各世代への伝承と災害時孤立しない地域づくり

●千代ヶ丘防コミの紹介

千代ヶ丘防コミ地区は、JR 垂水駅北側約 1km の閑静な住宅地です。千代ヶ丘防災福祉コミュニティでは、いざという時「自分の命は、自分で守る」「家族の財産は家族で守る」ための訓練を毎年くり返し行っています。一人ひとりが自分の命・財産を守る方法や災害が起きた時どのような行動をすれば良いのか？災害に対する「対応策」や「備え」について学んでいます。

●防災訓練

・令和 4 年 8 月 20 日 (木) 千代ヶ丘地域福祉センターにて「親子三世代参加型防災訓練」を開催しました。神戸学院大学など多くの皆様に協力をいただき、VR・119 番通報体験・起震車体験や災害時でも温かく栄養がある調理方法「パッキング」、食料備蓄方法のローリングストック、非常持ち出し品と備蓄品の簡易トイレ、保温・防水用ブランケットなどの紹介、消防車塗り絵コンクールを実施しました。

・令和 4 年 9 月 15 日 (木) 千代ヶ丘小学校 4 年生を対象に「総合防災訓練」を実施しました。消火器の使い方・VR 体験、防災学習として防災クイズで地震が起きた時の対応方法や備蓄品について学びました。



・令和 4 年 10 月 23 日 (日)「夜間避難誘導訓練」を行いました。日曜日の夕方にもかかわらず、多くの方の参加を頂き、その関心の高さにびっくりしました。参加者は、自宅から地域福祉センターまでの避難訓練を実施、また車いすを使って暗い時間帯での避難誘導體験訓練、防火講話を受講しました。日頃から訓練ができていない「夜間」の地震に対して対応するのが難しく、何もできない状況に陥ることも考えられます。その課題を確認するなど有意義な訓練が出来ました。

・令和 5 年 1 月 17 日 (火) 千代ヶ丘小学校との合同防災訓練を行いました。先生・児童・PTA・地域のみなさんなど約 400 名の参加を頂き、シェイクアウト・煙体験・簡易担架搬送・消火器の使い方や粉末消火器での消火体験訓練を行いました。

●これからの千代ヶ丘防コミの活動について

平成 7 年に起きた「阪神淡路大震災」から 28 年の歳月が過ぎましたが、神戸市民のうち半数以上の方が、阪神淡路大震災を知らない世代になっています。これからも震災で得た「体験と教訓」を若い人達に伝えて行く事が大切な使命だと考えています。また災害発生時、誰も孤立しない地域づくりに取り組んでまいります。

(千代ヶ丘防災福祉コミュニティ 川村 喜由)

